

ワンダとダイヤと優しい奴ら (1988)

A FISH CALLED WANDA

メディア 映画

ジャンル コメディ 犯罪

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 108分

初公開日 1989/04/08

公開情報 MGM/UA=UIP

【解説】

4人組の強盗によってロンドンの宝石店から1300万ポンドのダイヤが盗まれた。主犯格のジョージは捕まったものの、肝心のダイヤの行方はようとして知れない。強盗団の紅一点ワンダ（カーティス）はオットー（クライン）と組んで、ジョージの弁護士（クリーズ）に色仕掛けで接近、ダイヤの隠し場所を聞き出そうとする……。『モンティ・パイソン』一派のJ・クリーズ（共同脚本も）とM・パリンが参加して贈る、ブラック・コメディの快作。ダイヤをめぐるの丁々発止の駆け引きと騙し合いがテンポよく展開され、空港を舞台に繰り広げられるクライマックスのドタバタまで一気に楽しめる。M・パリンが、目撃者の老婦人を殺そうと次から次へと策を労するシーンもドギツイながらも存分に笑える。だが、本作の最大の魅力は何と言ってもワンダを演じるJ・L・カーティス。イタリア語を聞くとやおら欲情し始めるという設定といい、彼女の色っぽさとコメディエンヌぶりなくして、この映画は成り立たなかっただろう。

【クレジット】

監督	チャールズ・クライトン	Charles Crichton	
	ジョン・クリーズ	John Cleese	(ノン・クレジット)
製作	マイケル・シャンバーグ	Michael Shamberg	
製作総指揮	ジョン・クリーズ	John Cleese	
	スティーヴ・アボット	Steve Abbott	
脚本	ジョン・クリーズ	John Cleese	
	チャールズ・クライトン	Charles Crichton	
撮影	アラン・ヒューム	Alan Hume	
編集	ジョン・ジンプソン	John Jympson	
音楽	ジョン・デュプレ	John DuPrez	
出演	ジョン・クリーズ	John Cleese	アーチャー
	ジェイミー・リー・カーティス	Jamie Lee Curtis	ワンダ
	ケヴィン・クライン	Kevin Kline	オットー
	マイケル・パリン	Michael Palin	ケン
	トム・ジョージソン	Tom Georgeson	ジョージ
	パトリシア・ヘイズ	Patricia Hayes	コーディ夫人
	マリア・エイトキン	Maria Aitken	ウエンディ
	ジェフリー・パーマー	Geoffrey Palmer	判事
	シンシア・ケイラー	Cynthia Caylor	ポーシア
	ケン・キャンベル	Ken Campbell	バートレット

ジェレミー・チャイルド
スティーヴン・フライ

Jeremy Child
Stephen Fry

ジョンソン
ハッチソン